



リリースノート

Set up and administration

NetApp
June 15, 2022

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/cloud-manager-setup-admin/whats-new.html> on June 15, 2022. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

- リリースノート 1
 - 新機能 1
 - 既知の制限 7

リリースノート

新機能

Cloud Manager の管理機能の新機能であるネットアップのアカウント、コネクタ、クラウドプロバイダのクレデンシャルなどについて説明します。

2022年6月7日

コネクタ**3.9.19**

- このコネクタは、AWSジャカルタリージョン（AP-Southee-3）でサポートされるようになりました。
- このコネクタは、Azure ブラジル南東部でサポートされるようになりました。

["サポートされているリージョンの完全なリストを表示します"](#)

- このリリースのコネクタには、Cloud Volumes ONTAP の機能拡張とオンプレミスONTAP クラスタの機能拡張も含まれています。
 - ["Cloud Volumes ONTAP の機能拡張について説明します"](#)
 - ["ONTAP オンプレミスクラスタの機能拡張について説明します"](#)

2022年5月12日

コネクタ**3.9.18**パッチ

コネクタを更新し、バグ修正を実施しました。最も注目すべき解決策は、問題 が共有VPC内にある場合にGoogle CloudでのCloud Volumes ONTAP の導入に影響するというものです。

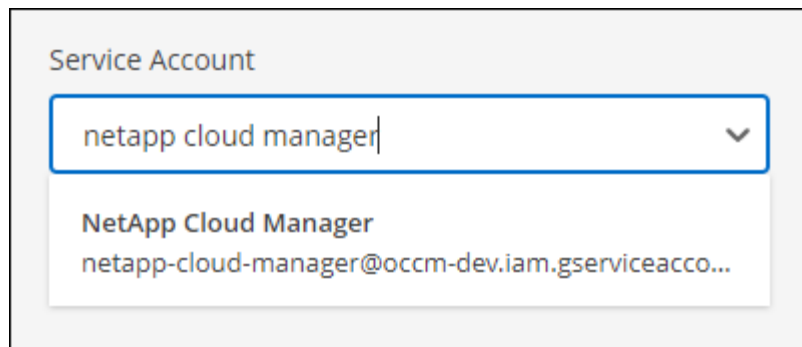
2022年5月2日

コネクタ**3.9.18**

- Connectorは、次のGoogle Cloudリージョンでサポートされるようになりました。
 - デリー（アジア-サウス2）
 - メルボルン（オーストラリア-スモアカス2）
 - ミラノ（ヨーロッパ-西8）
 - サンティアゴ（サウスアメリカ-西1）

["サポートされているリージョンの完全なリストを表示します"](#)

- Connectorで使用するGoogle Cloudサービスアカウントを選択すると、Cloud Managerに各サービスアカウントに関連付けられているEメールアドレスが表示されるようになりました。メールアドレスを表示すると、同じ名前を共有するサービスアカウントを区別しやすくなります。



- をサポートするOSでVMインスタンス上のGoogle CloudのConnectorを認定しました ["シールドVM機能"](#)
- このリリースのコネクタには、Cloud Volumes ONTAP の機能拡張も含まれています。 ["これらの拡張機能について説明します"](#)
- ConnectorでCloud Volumes ONTAP を導入するには、新しいAWS権限が必要です。

単一のAvailability Zone（AZ；アベイラビリティゾーン）にHAペアを導入する際にAWS分散配置グループを作成するためには、次の権限が必要です。

```
"ec2:DescribePlacementGroups",  
"iam:GetRolePolicy"
```

これらの権限は、Cloud Managerによる配置グループの作成方法を最適化するために必要になります。

Cloud Managerに追加したAWSクレデンシャルの各セットに、これらの権限を必ず付与してください。最新の権限のリストは、で確認できます ["Cloud Manager のポリシーのページです"](#)。

2022 年 4 月 3 日

コネクタ3.9.17

- Cloud Manager に、環境で設定した IAM ロールを割り当てることでコネクタを作成できるようになりました。この認証方式は、AWS のアクセスキーとシークレットキーを共有する場合よりも安全です。

["IAM ロールを使用してコネクタを作成する方法について説明します"](#)。

- このリリースのコネクタには、Cloud Volumes ONTAP の機能拡張も含まれています。 ["これらの拡張機能について説明します"](#)

2022 年 2 月 27 日

コネクタ3.9.16

- Google Cloud で新しいコネクタを作成すると、Cloud Manager に既存のすべてのファイアウォールポリシーが表示されるようになります。以前は、Cloud Manager にはターゲットタグがないポリシーは表示されませんでした。
- このリリースのコネクタには、Cloud Volumes ONTAP の機能拡張も含まれています。 ["これらの拡張機能について説明します"](#)

2022 年 1 月 30 日

コネクタ3.9.15

このリリースのコネクタには、Cloud Volumes ONTAP の機能拡張が含まれています。 ["これらの拡張機能について説明します"](#)

2022 年 1 月 2 日

コネクタのエンドポイントが減少しました

パブリッククラウド環境内でリソースやプロセスを管理するためにコネクタが接続する必要があるエンドポイントの数を削減しました。

["必要なエンドポイントのリストを表示します"](#)。

コネクタの **EBS** ディスク暗号化

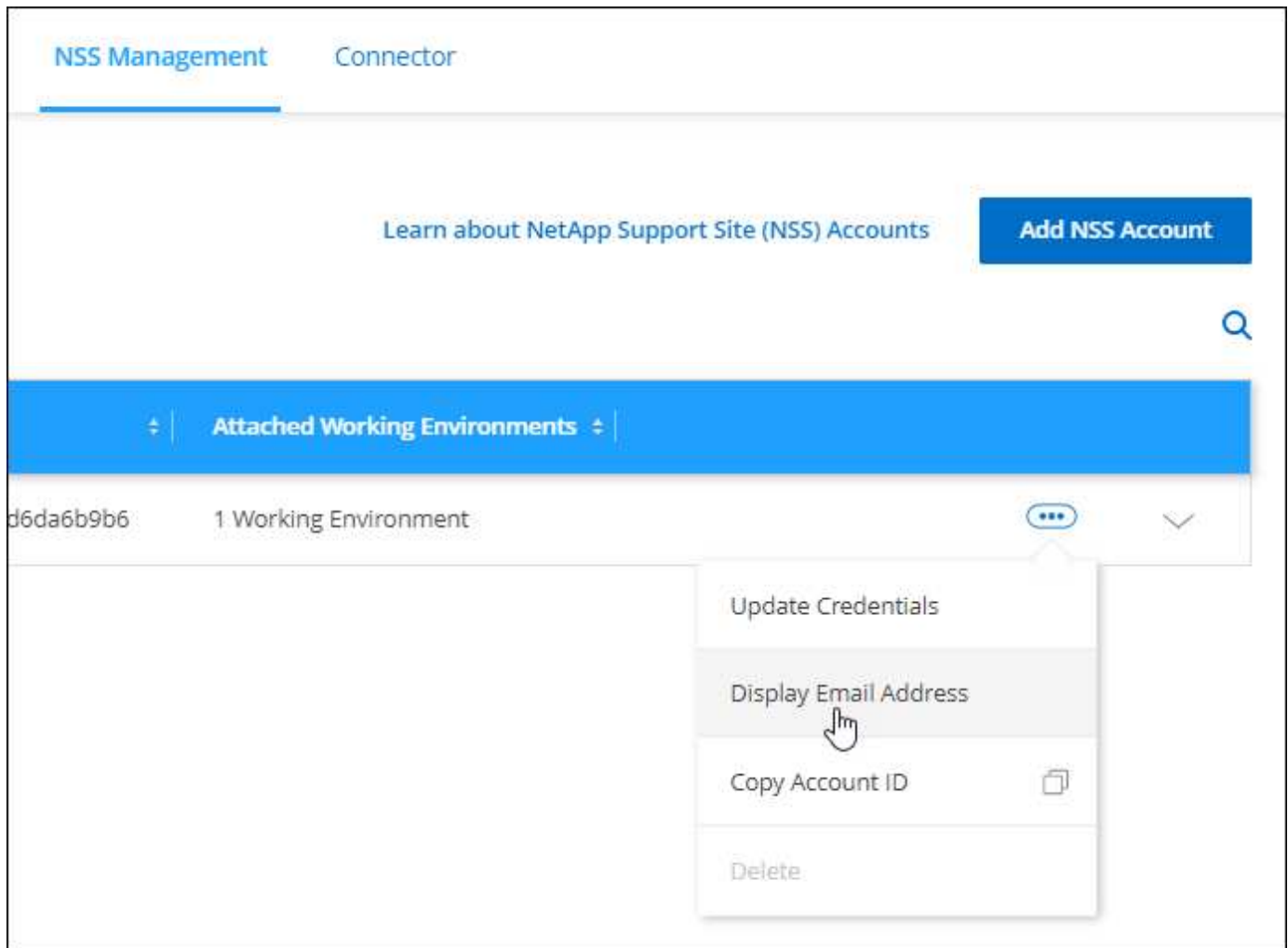
Cloud Manager から AWS に新しいコネクタを導入する際に、デフォルトのマスターキーまたは管理対象キーを使用してコネクタの EBS ディスクを暗号化できるようになりました。

The screenshot shows the 'Details' step in the AWS Cloud Manager console for creating a connector. The progress bar at the top indicates the following steps: 1. Get Ready (checked), 2. AWS Credentials (checked), 3. Details (active), 4. Network, 5. Security Group, and 6. Review. The 'Details' section contains the following fields and controls:

- Connector Instance Name:** A text input field containing 'Connector1'.
- Connector Role:** A section with two radio buttons: 'Create Role' (selected) and 'Select an existing Role'.
- Role Name:** A text input field containing 'Cloud-Manager-Operator-9yils3K'.
- Add Tags to Connector Instance:** A button with a plus icon and the text 'Add Tags to Connector Instance'.
- AWS Managed Encryption:** A toggle switch that is turned on (blue). A black arrow points to this toggle.
- Master Key:** A text label 'aws/ebs (default)' with a 'Change Key' link next to it.

NSS アカウントの E メールアドレス

Cloud Manager に、ネットアップサポートサイトのアカウントに関連付けられている E メールアドレスが表示されるようになりました。



2021 年 11 月 28 日

ネットアップサポートサイトのアカウントを更新する必要があります

2021 年 12 月以降、ネットアップは、サポートとライセンスに固有の認証サービスのアイデンティティプロバイダとして Microsoft Azure Active Directory を使用するようになりました。この更新によって、Cloud Manager は、以前に追加した既存のネットアップサポートサイトのアカウントのクレデンシャルの更新を求めます。

NSS アカウントを IDaaS に移行していない場合は、まずアカウントを移行してから、Cloud Manager でクレデンシャルを更新する必要があります。

- ["NSS アカウントを新しい認証方法に更新する方法について説明します"](#)。
- ["ネットアップによるアイデンティティ管理での Microsoft Azure AD の使用方法の詳細については、こちらをご覧ください"](#)

Cloud Volumes ONTAP の NSS アカウントを変更します

組織内に複数のネットアップサポートサイトのアカウントがある場合、Cloud Volumes ONTAP システムに関連付けられているアカウントを変更できるようになりました。

["作業環境を別の NSS アカウントに接続する方法について説明します"](#)。

2021 年 11 月 4 日

SOC 2 Type 2 認定

独立機関の公認会計士であり、サービス監査役は、Cloud Manager、Cloud Sync、Cloud Tiering、Cloud Data Sense、Cloud Backup（Cloud Manager プラットフォーム）を調査し、該当する信頼サービス基準に基づいて SOC 2 Type 2 のレポートを達成したことを確認しました。

["ネットアップの SOC 2 レポートをご覧ください"](#)。

コネクタはプロキシとしてサポートされなくなりました

AutoSupport から Cloud Volumes ONTAP メッセージを送信するためのプロキシサーバとして Cloud Manager Connector を使用することはできなくなりました。この機能は削除され、サポートも終了しています。AutoSupport 接続は、NAT インスタンスまたは環境のプロキシサービスを介して提供する必要があります。

["Cloud Volumes ONTAP による AutoSupport の検証の詳細については、こちらをご覧ください"](#)

2021 年 10 月 31 日

サービスプリンシパルを使用した認証

Microsoft Azure で新しいコネクタを作成する際、Azure アカウントのクレデンシャルではなく Azure サービスプリンシパルで認証できるようになりました。

["Azure サービスプリンシパルでの認証方法について説明します"](#)。

クレデンシャルの機能拡張

クレデンシャルページのデザインを見直し、使いやすく、Cloud Manager のインターフェイスの外観に合わせて刷新しました。

2021 年 9 月 2 日

新しい通知サービスが追加されました

通知サービスが導入され、現在のログインセッションで開始した Cloud Manager の処理のステータスを表示できるようになりました。処理が成功したかどうか、または失敗したかどうかを確認できます。["アカウントの操作を監視する方法については、を参照してください"](#)。

2021 年 8 月 1 日

RHEL 7.9 はコネクタでサポートされます

Red Hat Enterprise Linux 7.9 を実行しているホストでは、コネクタがサポートされるようになりました。

["コネクタのシステム要件を確認します"](#)。

2021 年 7 月 7 日

コネクタの追加ウィザードの機能拡張

新しいオプションを追加して使いやすくするために、* コネクタの追加 * ウィザードを再設計しました。タグの追加、ロール（AWS または Azure）の指定、プロキシサーバのルート証明書のアップロード、Terraform Automation のコードの表示、進捗状況の詳細の表示などが可能になりました。

- ["AWS でコネクタを作成します"](#)
- ["Azure でコネクタを作成します"](#)
- ["GCP でコネクタを作成します"](#)

NSS アカウントの管理をサポートダッシュボードから行うこともできます

ネットアップサポートサイト（NSS）アカウントは、設定メニューではなくサポートダッシュボードで管理できるようになりました。この変更により、すべてのサポート関連情報を 1 箇所から簡単に検索して管理できるようになります。

["NSS アカウントを管理する方法について説明します"](#)。

2021 年 5 月 5 日

タイムラインのアカウント

Cloud Manager のタイムラインに、アカウント管理に関連する操作とイベントが表示されるようになりました。アクションには、ユーザーの関連付け、ワークスペースの作成、コネクタの作成などがあります。タイムラインのチェックは、特定のアクションを実行したユーザーを特定する必要がある場合や、アクションのステータスを特定する必要がある場合に役立ちます。

["タイムラインをテナンシーサービスにフィルタリングする方法について説明します"](#)。

2021 年 4 月 11 日

Cloud Manager に直接 API で呼び出します

プロキシサーバを設定している場合、プロキシを経由せずに Cloud Manager に API 呼び出しを直接送信するオプションを有効にできるようになりました。このオプションは、AWS または Google Cloud で実行されて

いるコネクタでサポートされます。

["この設定の詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

サービスアカウントユーザ

サービスアカウントユーザを作成できるようになりました。

サービスアカウントは「ユーザ」の役割を果たし、Cloud Manager に対して自動化のための許可された API 呼び出しを実行できます。これにより、自動化スクリプトを作成する必要がなくなります。自動化スクリプトは、会社を離れることができる実際のユーザアカウントに基づいて作成する必要がなくなります。フェデレーションを使用している場合は、クラウドから更新トークンを生成することなくトークンを作成できます。

["サービスアカウントの使用方法的詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

プライベートプレビュー

アカウントのプライベートプレビューで、新しい NetApp クラウドサービスが Cloud Manager のプレビューとして利用できるようになりました。

["このオプションの詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

サードパーティのサービス

また、アカウント内のサードパーティサービスが Cloud Manager で使用可能なサードパーティサービスにアクセスできるようにすることもできます。

["このオプションの詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

2021 年 2 月 9 日

サポートダッシュボードの強化

サポートダッシュボードが更新され、ネットアップサポートサイトのクレデンシャルを追加できるようになりました。このクレデンシャルをサポートに登録してください。ネットアップサポートケースは、ダッシュボードから直接開始することもできます。[ヘルプ] アイコンをクリックして、[Support] をクリックします。

既知の制限

既知の制限事項は、このリリースの製品でサポートされていないプラットフォーム、デバイス、機能、または製品と正しく相互運用できない機能を特定します。これらの制限事項を慎重に確認してください

これらの制限事項は、Cloud Manager のセットアップと管理に固有のもので、コネクタ、SaaS プラットフォームなどが該当します。

コネクタの制限

172 の範囲の IP アドレスと競合する可能性があります

Cloud Manager は、172.17.0.0/16 と 172.18.0.0/16 の範囲に IP アドレスを持つ 2 つのインターフェイスを使用してコネクタを展開します。

これらの範囲のいずれかでネットワークのサブネットが設定されている場合、Cloud Manager から接続エラーが発生することがあります。たとえば、Cloud Manager でオンプレミスの ONTAP クラスタを検出すると失敗することがあります。

技術情報アートを参照してください ["Cloud Manager ConnectorのIPが既存のネットワークと競合します"](#) コネクタのインターフェイスのIPアドレスを変更する方法については、[こちら](#)を参照してください。

HTTP プロキシサーバのみがサポートされています

社内ポリシーで、インターネットへのすべての HTTP 通信にプロキシサーバを使用する必要がある場合は、その HTTP プロキシサーバを使用するようにコネクタを設定する必要があります。プロキシサーバは、クラウドまたはネットワークに配置できます。

Cloud Manager では、コネクタでの HTTPS プロキシの使用はサポートされていません。

SSL 復号化はサポートされていません

Cloud Manager では、SSL 復号化が有効になっているファイアウォール設定はサポートされていません。SSL 復号化が有効になっている場合、Cloud Manager にエラーメッセージが表示され、Connector インスタンスが非アクティブと表示されます。

セキュリティを強化するには、を選択します ["認証局（CA）が署名した HTTPS 証明書をインストールする"](#)。

ローカル UI のロード時に空白ページが表示される

コネクタのローカルユーザインターフェイスをロードすると、UI が表示されない場合があります、空白のページが表示されるだけです。

この問題は、キャッシュの問題に関連しています。回避策では、incognito モードまたはプライベート Web ブラウザセッションを使用します。

共有 Linux ホストはサポートされません

コネクタは、他のアプリケーションと共有されている VM ではサポートされません。VM は、コネクタソフトウェア専用にする必要があります。

サードパーティのエージェントと内線番号

Connector VM では、サードパーティのエージェントや VM 拡張機能はサポートされません。

SaaS の制限

政府機関では **SaaS** プラットフォームが無効になっています

コネクタを AWS GovCloud リージョン、Azure Government リージョン、または Azure DoD リージョンに導入した場合、Cloud Manager へのアクセスはコネクタのホスト IP アドレスからのみ可能です。SaaS プラッ

トフォームへのアクセスは、アカウント全体で無効になります。

つまり、エンドユーザの内部 VPC / VNet にアクセスできる特権ユーザのみが Cloud Manager の UI または API を使用できます。

また、次のサービスが Cloud Manager から利用できないことも意味します。

- Kubernetes
- クラウド階層化
- グローバルファイルキャッシュ

これらのサービスを使用するには、SaaS プラットフォームが必要です。



Cloud Backup、Cloud Data Sense、Monitoring サービスは、政府機関でサポートされていて利用できます。

市場の制約

従量課金制の **Azure** と **Google Cloud** のパートナーは利用できません

Microsoft Cloud 解決策 Provider（CSP）パートナー様または Google Cloud パートナー様は、従量課金制のサブスクリプションをご利用いただけません。ライセンスを購入し、BYOL ライセンスを使用した NetApp クラウドソリューションを導入する必要があります。

従量課金制のサブスクリプションは、次の NetApp クラウドサービスでは利用できません。

- Cloud Volumes ONTAP
- クラウド階層化
- クラウドバックアップ
- クラウドデータの意味

著作権情報

Copyright © 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. 米国で印刷されていますこのドキュメントは著作権によって保護されています。画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体などの機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。テープ媒体、または電子検索システムへの保管-著作権所有者の書面による事前承諾なし。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、いかなる場合でも、間接的、偶発的、特別、懲罰的、またはまたは結果的損害（代替品または代替サービスの調達、使用の損失、データ、利益、またはこれらに限定されないものを含みますが、これらに限定されません。）ただし、契約、厳格責任、または本ソフトウェアの使用に起因する不法行為（過失やその他を含む）のいずれであっても、かかる損害の可能性について知らされていた場合でも、責任の理論に基づいて発生します。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、またはその他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1 つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許により特許、その他の国の特許、および出願中の特許。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7103（1988 年 10 月）および FAR 52-227-19（1987 年 6 月）の Rights in Technical Data and Computer Software（技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する諸権利）条項の（c）（1）（ii）項、に規定された制限が適用されます。

商標情報

NetApp、NetAppのロゴ、に記載されているマーク <http://www.netapp.com/TM> は、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。